

西っ子だより

大谷グローブ届きました！

1月下旬、西庄内小学校にも「大谷グローブ」が届きました。早速、子どもたちにふれる機会を設け、多くの子どもたちが来ました。



現在は、決められた曜日の休み時間に学年ごとに使用しています。今まで見られなかったキャッチボールがよく行われています。

昔の道具の学習

2月1日、3年生が「昔の道具」について学習しました。行灯(あんどん)には実際火をつけて明るさを体験しました。ゲストティーチャーの説明を聴きながら、昔の暮らしを知り、人の知恵も知ることができました。



平和集会

2月6日に平和集会を行いました。集会では3年生が調べ学習の発表をしました。戦時下での我慢を強いられた生活や戦争に関する遊びなど、生活に大きな違いがあったことがわかったそうです。

平和が大切ということは、皆が感じることができました。それと同時に平和をつかっていくことの大切さについても考えるきっかけになる集会となりました。



昔の遊び

2月8日に生活科で1・2年生が、昔の遊び体験をしました。6人のゲストティーチャーに、けん玉・お手玉・こま回し・ヨーヨーを教えていただきました。初めて挑戦する子、幼稚園の頃に練習していた子どもなど経験は様々でしたが、お手本を見ながら一生懸命チャレンジしていました。



3学期がスタートしてあっという間に半分が過ぎました。学校にはいろいろな方面からゲストティーチャーを招くことができ、子どもたちは生き生きと学んでいます。

給食週間・集会

毎年1月24日から1週間で「全国学校給食週間」と定められています。給食週間期間中は、学校給食の意義や役割について、子どもや教職員の理解を深め関心を高めるため、全国で様々な行事が行われます。

西庄内小では2月8日に給食集会を行い、給食センターより栄養教諭の先生方2名をお迎えし、給食センターの様子を動画で見せてもらったり、クイズで給食について理解を深めたりしました。また、給食委員会からもクイズが行われ、全校の子どもたちが楽しく学ぶことができ、給食に携わる方々に感謝の気持ちを持つことができました。



県立博物館訪問講座

2月16日、6年生が訪問講座で「銅鏡の鑄造体験」をしました。これは歴史学習の一環で、銅鏡については、これまで学んできていますが、実際にそれを作ってみるという体験でした。思い出に残る貴重な体験となりました。

